



01 豊川市制施行 80 周年記念事業「医療・健康についての講演会」

豊川市制施行 80 周年記念事業として、豊川市民病院で「医療・健康についての講演会」を令和 5 年 7 月頃に開催する予定です。新型コロナウイルス国内初感染から 3 年。今なお収束の兆しを見せない新型コロナウイルス感染症につい

て、専門知識をお持ちの著名な方にお越しいただき感染症や健康についてのご講演をいただく予定です。日程等の詳細が決まりましたら、当院ホームページなどでお知らせします。



02 人間ドックや健康診断を通じて健康づくりを応援します

当院では、皆さまが健やかに生活していただくことを目標に、人間ドックなどの各種健康診断を行っています。ご自身の健康管理の第一歩として、受診されてみてはいかがでしょうか。

人間ドック

基本的な検査をバランスよく受けることができます。健康リスクの上がる 30 歳以降の受診がおすすめで、年 1 回の受診が適当とされています。胃の検査はバリウムや胃カメラ以外に、ペプシノーゲンという血液検査のコースもご用意しております。

全国健康保険協会（協会けんぽ）生活習慣病予防健診
35 歳から 74 歳の協会けんぽに加入している被保険者（ご本人）を対象とした健診です。

脳ドック

脳と脳の血管の状態を詳しく見て、動脈硬化や小さな脳梗塞、脳出血の跡、脳血管のこぶの有無などを調べ、脳卒中発症の危険度を検査します。

PET-CT 検査

検査薬を血管に注射して撮影し、がんがあるかどうかを調べます。身体的負担が少なく、一度に全

身の検査ができます。

オプション検査

乳がん検診や子宮がん検診、低線量胸部 CT、アレルギー検査などをご用意しております。

その他

特定健診・保健指導、法定健診等も行っています。

がんなどの疾病の早期発見はもとより、生活習慣病の予防を推進し、皆さまが健康で充実した毎日を過ごしていただけるよう、全力でサポートしてまいります。

総合健診室では、予約を随時受け付けています。日程について、ご希望に添えない場合があります。2 月から 4 月は予約にゆとりがありますので、混雑を避けたい方はこの時期にご利用ください。なお、個人負担金については、健康保険組合・会社等により異なります。

予約電話：0533-95-0030
(平日 8:30~17:00 総合健診室直通)

03 人間ドックを受けられた方へ

当院で人間ドックを受診し、がん検診項目(肺、胃、大腸、子宮、乳)において要精密検査と判定された方が当院での精密検査を希望される場合、電話での外来診察予約を受け付けています。

連絡先 豊川市民病院 総合健診室 (0533-95-0030)ががん精密検査の予約を希望する旨をお伝えください。

受付時間 平日 12:00~15:00 (土日祝日、12月29日~1月3日は除く)

その他 健診受診日から 3 か月以内の申込が必要になります。予約日時においてご希望に添えない場合もありますのでご承知おきください。



05 がん患者就労相談

治療と仕事の両立支援

療養中の収入はどうか、会社にはどう説明したらいいのかなど、がんの治療と仕事を両立するための方法や社会保険制度の利用方法について、社会保険労務士と当院スタッフが連携して相談に応じます。一人で悩まずご相談ください。

日時 毎月第 3 火曜日 10:00~12:00

場所 豊川市民病院 医療相談室

対象 がん患者さんとそのご家族

費用 無料

申込 予約優先。開催 1 週間前までに、電話で、患者サポートセンター患者相談グループ(0533-86-1111) (代表) へ。



■予約優先ですが、空きがあれば当日でも対応します。
■当院に通院していない方でも利用できます。

04 がん診療拠点病院 質の高いがん医療を

当院は、愛知県がん診療拠点病院として、がん治療の更なる充実に向けて取り組んでいます。がん診療体制として、手術、薬物療法、放射線治療及び緩和ケアの提供に加え、セカンドオピニオンを提示する体制を整備しています。

2021 年 2 月には最新の高精度放射線治療装置(トモセラピー)を導入し、従来の放射線治療に加え、IMRT(強度変調放射線治療)や定位放射線治療が可能となりました。高線量の放射線を腫瘍に集中させることで、治療期間の短縮や副作用を抑えることができ、放射線治療中の負担を軽減します。



高精度放射線治療装置
(トモセラピー)

06 リハビリ通信 こえん 誤嚥性肺炎予防

誤嚥性肺炎は、口の中の衛生状態の低下により口腔内で増殖した菌が唾液や食物とともに誤って気管や肺に入ることが原因で起こりやすくなります。また、全身の栄養状態が悪く免疫力が低下していることで誤嚥性肺炎を発症します。

誤嚥性肺炎を予防するには、適切な口腔ケアを行い、口の中を清潔に保ち、誤嚥防止のための機能訓練(口・舌の体操)で飲み込む力をつけ、咳などで吐き出させるようにすることが重要です。併せて、栄養状態を改善し病気に打ち勝つ免疫力を向上させることも大切です。

【誤嚥性肺炎予防 口・舌の体操】



「ウ」と「イ」の口を交互に繰り返す。

舌を出し入れしたり、上下左右に動かす。